

本学の先生方が執筆された新刊情報をお届け!

2025 SUMMER

03

三宅 舞(ドイツ語学科専任講師)分担執筆  
『演劇と民主主義』  
一演劇学と政治学のインタラクティブ]  
三元社 2025年2月  
本体3400円(税別)



民主主義政治を実際に機能させている「代理」に演劇性が含まれるように、演劇と民主主義はその本質において複雑に交錯している。民主主義への無力感と絶望が高まる世界で、演劇の仮構性・虚構性を活かした政治的発想の転換を11人の演劇学者と政治学者が模索します。

07

師岡 カーマ・エルサムニ(言語文化学科非常勤講師)著  
『これからはじめる アラビア語入門』  
NHK出版 2025年2月  
本体3600円(税別)



アラビア語を学びたい人は、まずはこの1冊から。教室で講師といっしょに学習しているような感覚で読み進めてもらえる入門書、それが本書のコンセプトです。はじめてアラビア語を学ぶ人でもゼロから始められます。

11

関戸 冬彦(言語文化学科非常勤講師)分担執筆  
『英米文学における「危機」を読み解く』  
『ダモクレスの剣の変容』  
羽野書房鶴見書店 2025年3月  
本体4200円(税別)



17名の著者がその専門分野で、「危機」をテーマとした、あるいはそれに関連した英米文学作品を論じます。17編の論考は感染症、戦争、環境、食糧・エネルギー、ジェンダー・人種、内面、宗教、分断の八つの「危機」に分類し収録。

15

本田 浩邦(経済学科教授)著  
『アメリカ危機の省察』  
大月書店 2025年4月  
本体2700円(税別)



トランプのバラノイア政治の本質はなにか?危機の構図を政治・経済・宗教・外交など総合的にとらえ、資本主義システム、権力構造など近現代の経済的、政治的背景を分析し、リベラルや左派が対峙すべき課題をも描き出します。

04

永野 隆行(交流文化学科教授)分担執筆  
『現代オーストラリア政治』  
法律文化社 2025年2月  
本体2900円(税別)



オーストラリアの政治・社会についての入門書。歴史・地理といった基礎知識を押さえたうえで、現代の政治制度や社会状況、国際関係を学ぶ。国際的にも重要な国でありながらも政治・社会についてよく知られていないオーストラリアをわかりやすく解説。

08

市原 博(経済学科教授)分担執筆  
『鉄道百五十年史 第一巻 創業から国有鉄道誕生まで』  
交通協会 2025年2月  
本体100000円(税別)  
※5巻+資料編セット



『鉄道百五十年史』は、初めての総合鉄道史として、官鉄・国鉄、JR、民営鉄道、公営鉄道の全てにわたる我が国の鉄道150年の経営と技術の歴史を記述した大型企画です。

12

安原 陽平(法律学科教授)分担執筆  
『インクルージョンを展望するカリキュラムづくり』  
ミネルヴァ書房 2025年3月  
本体2600円(税別)



カリキュラム論は教育学や教育実践の領域です。すでに多くの書籍がありますが、これまでのカリキュラム論(教育課程論)では、インクルージョンの視点が十分に語られてきませんでした。本書では、インクルーシブ教育の本質をおさえ、子どもの自立を支援するためのカリキュラムづくりのあり方を示します。

16

松本 健太郎(英語学科教授)共編著  
『都市とポスト文学の詩学 漫食するフィクション/拡張するリアル』  
ナカニシヤ出版 2025年5月  
本体3000円(税別)



都市とコンテンツの創発を捉えるために、メディアジャンルを越境する近現代の多様なフィクション・コンテンツ=ポスト文学の作品群と都市との相互作用を読み解く珠玉の17章。

01

大谷 基道(総合政策学科教授)分担執筆  
『水害多発時代の流域治水 一自治体における組織・法制・条例・土地利用・合意形成一』  
第一法規 2024年12月  
本体3200円(税別)



自治体が、治水から流域治水への水害対策の変化に対応した施策の立案、実施ができるよう、自然機能の活用や自然と人の生活との共生を目指した環境づくりに基づく政策立案の進め方、地域住民との合意形成、組織・人員体制の考え方等、先行事例を交えて解説。

05

松岡 格(言語文化学科教授)分担執筆  
『台湾の歴史大全 一基礎から研究へのレファレンス』  
藤原書店 2025年2月  
本体4400円(税別)



オランダ、清朝、日本、アメリカ、中国など諸勢力の狭間を生きてきた台湾という空間の、先史時代から現代に至る歴史を、通史と事典的記述を両輪に、65名の気鋭の執筆陣が描きます。

09

明田川 聡士(言語文化学科非常勤講師)訳(林庭毅 著)  
『裏組織の脚本家』  
書肆侃侃房 2025年3月  
本体2100円(税別)



台北・西門町にある浮木(フームー)という居酒屋には、闇の組織「ワラビ」のメンバーが潜伏。屋根裏の小部屋「ワラビの部屋」に「新しい人生の台本」を抱えて入れれば、人生を変えることができる。ただし、それには条件があった……。台湾発のSFファンタジー。

13

堀川 宏(言語文化学科准教授)分担執筆  
『専門書を読む 一教員と学生でつくる10講座一』  
ミネルヴァ書房 2025年4月  
本体3000円(税別)



読書離れが進むとされる今、どうすれば大学生に専門書を読ませ、内容を理解させることができるのか。ペアで読む、輪読、要約、書評執筆など、知恵を絞った教員10人の格闘の記録。分担執筆として、獨協大学で「イリアス」の翻訳を読む講義の実践をまとめました。

17

柿田 秀樹(英語学科教授)、松本 健太郎(英語学科教授)共編著  
『ポストヒューマン時代のコミュニケーション学 モノと主体の関係を問う 直すための視点と事例』  
ナカニシヤ出版 2025年5月  
本体2700円(税別)



モノを中心に据え「人間」以後の(コミュニケーション)を考えるために、多様なモノと主体の関係からコミュニケーションを論じる1冊。

02

アダム・ゾーリンジャー(英語学科教授)分担執筆  
『A Companion to Nô and Kyôgen Theatre (Vol. 2)』  
Brill 2024年12月  
US\$190



能楽と狂言は、世界で最も長く上演され続けている演劇形式のひとつであり、日本の芸術、文化、社会、歴史と深く結びついています。これらの伝統の重要な要素をまとめ、幅広い分野の日本人および外国人の専門家による寄稿によって、新たな洞察を提供します。

06

木島 泰三(言語文化学科非常勤講師)訳(ブルース・N・ウォラー 著)  
『道徳的責任論 責めても何もよくなりません』  
平凡社 2025年2月  
本体7200円(税別)



科学的世界像を真実に受け止める「自然主義」の立場から「道徳的責任」の可能性とその断絶を訴える。同時に「自由意志」の両立論を支持するユニークな立場を打ち出した必読の書。

10

木島 泰三(言語文化学科非常勤講師)共訳(キース・E・スタノヴィッチ 著)  
『THE ROBOT'S REBELLION ロボットの反逆 ヒトは生存機械(サイババルマシン)にすぎないのか』  
ダイヤモンド社 2025年3月  
本体4400円(税別)



『利己的な遺伝子』『ファスト&スロー』に連なる学問の枠を超えた伝説的名著が復刊。私たち人間は本当に、遺伝子の乗り物に過ぎないのか?AIの時代にこそ読みたい一冊。

14

水口 良樹(言語文化学科非常勤講師)共編著、高際 裕哉(言語文化学科非常勤講師)分担執筆  
『日本から考えるラテンアメリカとフェミニズム』  
中南米マガジン 2025年4月  
本体1500円(税別)



文学、哲学、政治学、文化人類学、地域研究といった各分野の専門家が、ラテンアメリカのフェミニズムシーンを5つの章と17のコラム、各ジャンル資料集で多角的に描き出した類書のない画期的入門書。

18

大藤 紀子(国際関係法学科教授)分担執筆  
『憲法五重奏』  
有信堂高文社 2025年4月  
本体3200円(税別)

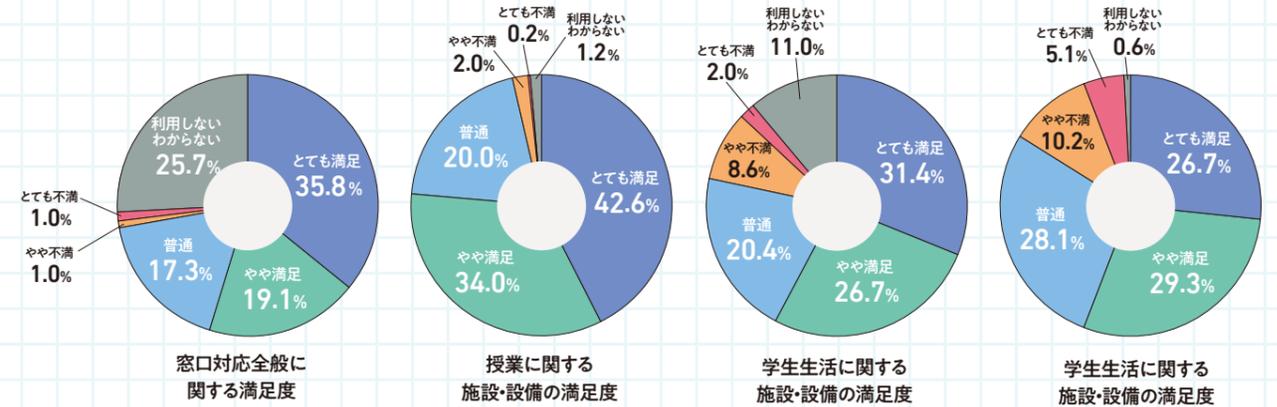


近代立憲主義とその現代的展開という歴史の流れを重視しつつ、現在の多岐にわたる問題を柔軟な思考で分析する五人のコラボ。入門者の体系的学習から中上級者の論点復習にまで幅広く活用できる充実した構成内容。判例・学説がさらに充実した最新版。

2024年度

教育環境改善のための取り組みについて

獨協大学では、隔年で「学生による教育環境改善のためのアンケート」を実施しています。2024年度末に実施したアンケート結果についてご報告いたします。  
【2024年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」】



◆実施概要

8,169名(学部生、大学院生、聴講生など)を対象にPorTaIIで実施しました。回答率は約6.0%で491名から回答いただきました。

◆アンケート結果概要

各設問に対する回答者全体の満足度の結果は、グラフの通りです。詳細は、獨協大学HP「獨協大学の自己点検・評価活動」のページ内にある「学生による教育環境改善のためのアンケート」をご参照ください。

<https://www.dokkyo.ac.jp/about/selfmonitor/selfmonitor.html>



ぶ-ら-り-ら-い-ぶ-ら-り

Vol.115

図書館をフル活用して、語学カアッを目指そう!

「図書館では、どんな外国語学習ができるか知りたい!」という学生は必読。今回は、語学カアッにおすすめの資料や施設を紹介します。



多読本(リーダー) 3階

- 辞書を使わずに本をたくさん読むことで、語学力を向上させる学習法、「多読」の資料です。
- 英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語があり、初級から上級までのレベルを取り揃えています。
- 初級から読み始めて、段階的にレベルアップしていくことで、語学力や読解力が向上します。



英語は電子版もあります! 詳細はこちら



外国語検定コーナー 3階

- 英検、TOEIC®、TOEFL®、独検、仏検など、各言語の検定試験問題集、付録CD、テキストがあります。
- 過去問題から最新版まで全て貸出可能なので、試験対策もばっちり。



日本学コーナー 1階

- 日本語(対訳)、中国語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語で書かれた日本に関する資料を集めたコーナーです。
- 日本に来た留学生が日本の事象について学ぶだけでなく、外国語で日本を紹介するための参考資料としても役立ちます。面白い資料が揃っているので、是非手に取ってみてください。



発話トレーニングブース 3階

- 設置PCのeラーニングシステムや音声資料を使って、発音・発話練習ができる施設。教科書の音読などもOKです。
- 100分間まで利用できるの、じっくり発音・発話練習に取り組みたい方にぴったり。



AVコーナー 3階

- 不朽の名作から話題作まで、バラエティに富んだ各国の映像作品を取り揃えています。
- 視聴覚資料は、AVコーナーでのみ利用可能です。海外の映像作品を視聴することで、楽しみながら語学力をアップできます。

